



# 小田原といえば梅 梅といえば小田原



発行月：令和6年（2024年）2月  
発行者：小田原文化レポーター

小田原市の市の花は「梅」。毎年2月は「小田原梅まつり」。小田原城址公園では2月初旬に、曾我梅林では約35,000本にも及ぶ梅が2月中旬頃に一斉に開花します。今号は梅特集！花だけではない「小田原の梅」をお楽しみください。

小田原市の市章



波頭で作る梅花の形  
約80年前に生まれたデザイン

## いろいろ小田原とは？

小田原には古くからたくさんの文化が花開き、現在も活気ある活動が続いています。そんな小田原のアレコレを見つめたレポートをもっと多くの方に！という願いを込めて発刊しています。

## なぜ梅干しといえば小田原なの？

戦国時代から梅の栽培が行われた小田原。北条早雲は梅干しの薬効に注目して、梅の木を植え、梅干し作りを奨励したと伝わっています。

江戸時代には旅人たちが箱根八里を越える際に梅干しを小田原宿で買い求め、弁当の腐敗防止や喉の渇きをいやし旅の疲れを回復させたため、小田原宿の名物として全国に知られるようになりました。『東海道中膝栗毛』にも小田原の梅が登場します。



うめまる  
ふか  
こまめし  
広目子

## 小田原市観光PRキャラクター 「梅丸」変身の術

梅丸は「小田原夢まつり」で誕生した永遠の3歳（今年で33年目）。小田原市ホームページによると、性格は笑顔で陽気なのんびりや。趣味はおさんぽ。特技は、梅干しづくりと小田原ちょうちんづくり。好きな食べ物は、曾我の梅干し、相模湾の地魚、かまぼこ、みかん、あんこ。91ものポーズに変身して活躍中！

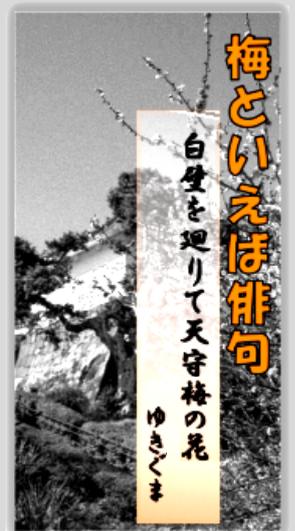


二〇二四年の立春青空句会は二月四日（日）、梅まつり俳句大会は十日（土）に終了しています。  
五句は小田原俳句協会報より引用。



吉田百代

- ＊小田原城の二の丸広場で最初に咲き始めるのは黄色い緋梅。風が変わり、白や紅が仄かに見えてくる。約ひと月その変わり様を楽しめる。梅といえば俳句。立春には小田原城址で青空句会が催され、梅の枝の短冊が春風に揺れる。
- 紅梅の一樹離れて咲く城址 村場十五
- 梅の香や前頭葉のクリーニンジ 岡本史郎
- ＊同じころ、市内外から投句を集めて梅まつり俳句大会も開かれる。
- 空はまだ鋼の硬さ梅の花 島梅乃
- いちまいを出がけに羽織る梅見かな 池田忠山
- ＊梅の花には、冷たい空気感のなかに温かいものを微かに感じる不確かな揺れのような想いがある。ちなみに梅干しは夏の季語。
- 梅を干すひと粒づつに日の匂ひ 吉田百代





## 学校でも梅は大活躍 小田原の学校給食はウメエ〜



市内小学校の給食に梅が取り入れられていることをご存じですか？

スープに梅干しを使い、梅の花の模様が入ったなるとをトッピングした「梅丸ラーメン」は、多くの小学校で食べられている人気メニュー。矢作小学校では、児童が考案し、児童と教職員の投票で選ばれた「鶏肉の梅和え」が大好評です。



梅丸ラーメン

野菜や肉が入って具たくさん！  
なるとは、市内のかまぼこ業者が製造



鶏肉の梅和え

炒めた鶏肉と玉ねぎに、小田原産の梅干しを使った梅ソースを絡めた一品

梅丸ラーメンのレシピなど「おだわらこんだて」の詳細は市ホームページをチェック



## 小田原には 梅のお菓子がたくさんあるよ



小田原には「甘露梅」という約140年の歴史を誇る梅のお菓子があるのをご存じですか？ 注目のニューフェイスは「梅キャラメル」。小田原産の梅ピューレが練り込んであり、甘酸っぱい味わいがイケるんです。ほかにも疲労回復に役立つクエン酸を含んだ梅のお菓子がいろいろ。小田原散歩のおともはいかがですか？

続きはレポートで!!



## 驚きのクラフト！ 小田原の梅干し種細工

下に一、下に。これは西国のお殿様の御一行か。いよいよ天下の剣、箱根越えとみえる。「もっと下がれ、頭を垂れよ。」そんな声が聞こえてきそうな。豆粒ほどの人形が並ぶ、並ぶ。いや、豆ではなく梅干しの種だ。それを細工して、人や馬、家並みまで再現している。スゴイぞ、これは。いったい誰が作ったのか。知りたい。会って話を聴きたい。向かったその先は、小田原駅前、地下街の一角。梅干しを商う『福梅』の中にその人はいた。



続きはレポートで!!



- レポーターが注目するホール情報をシェア -

## 小田原三の丸ホールから、こんにちは!

注目ポイント④: 小田原三の丸ホール 2階小ホールホワイエ

三の丸ホールの2階の突き当りの壁面にご注目を！ 小田原市や箱根町で製作を行う木工作家の有志の方々による、木の温もりを感じられるレリーフが飾られています。個性溢れる作品が一堂に会し、ひとつの作品として見られるのは、市内でもここだけ。開演前や休憩のひとときに、伝統アートの世界をお楽しみください。



### 小田原三の丸ホール

小田原市本町1-7-50

開館時間: 9~21時

休館日: 第1・3月曜日(祝日の場合は翌日以降の最初の平日)・年末年始(12月29日~1月3日)



イベントカレンダー